

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 三櫻工業株式会社
 コード番号 6584 URL <http://www.sanoh.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 竹田 陽三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員グローバル財務管理部長 (氏名) 篠原 良幸
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東

TEL 0280-33-1111

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	65,902	—	2,596	—	2,228	—	1,133	—
20年3月期第3四半期	68,996	8.9	3,275	24.8	3,134	23.8	1,523	67.7

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第3四半期	32.08		—	
20年3月期第3四半期	42.73		42.68	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第3四半期	68,760		33,262		45.8		895.99	
20年3月期	71,248		34,932		46.3		930.07	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 31,505百万円 20年3月期 32,983百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7.50	—	8.00	15.50
21年3月期	—	8.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有
 期末配当につきましては、現時点において未定であります。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	△19.5	1,400	△72.4	600	△86.6	100	△96.0	2.84

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無
- (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年3月期第3四半期 | 37,112,000株 | 20年3月期 | 37,112,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年3月期第3四半期 | 1,950,037株 | 20年3月期 | 1,649,006株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年3月期第3四半期 | 1,801,366株 | 20年3月期第3四半期 | 1,474,529株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用に当たっては3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、米国発の金融危機の影響により景気が急速に悪化いたしました。海外におきましても、これまで堅調だった中国をはじめとするアジア諸国の景気も減速しており、世界同時不況の様相が強まってまいりました。

自動車業界におきましても、第3四半期以降、国内・海外ともに需要が急激に冷え込んでおり、世界の自動車生産台数が大きく減少するなど、非常に厳しい事業環境となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループは主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品の新規受注、受注拡大に取り組み、国内外の子会社・関連会社との企業ネットワークを使った受注活動を展開するとともに、経費削減と構造改革に取り組み、利益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は、前年同期と比べて4.5%減の659億2百万円、経常利益は、前年同期と比べて28.9%減の22億28百万円、四半期純利益は、前年同期と比べて25.6%減の11億33百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

売上高は、前年同期と比べて3.7%減の374億4百万円となりました。しかしながら、営業利益につきましては、原価低減に取り組みましたものの原材料費用の高騰等により、前年同期と比べて50.5%減少の10億36百万円となりました。

②北米・中南米

米国の自動車生産台数の減少等により、売上高は、前年同期と比べて6.3%減少し168億51百万円となりました。一方、営業利益につきましては、サンオー アメリカ Inc.の収益改善効果により、前年同期と比べて270.0%増の5億92百万円となりました。

③その他

(欧州)

欧州全体における自動車生産の落ち込みにより、売上高は、前年同期と比べて23.1%減の29億88百万円にとどまりました。営業利益は、ハンガリーのサンオー マジヤールkft.の本格稼働の影響から、前年同期と比べて10.9%増加の1億52百万円となりました。

(中国・アジア)

売上高は、前年同期と比べて4.3%増加し86億58百万円となりましたが、好調に推移していたアジア経済に翳りが見え始めたこともあり、営業利益につきましては、前年同期と比べて7.6%減の8億17百万円となりました。

(注) 前年同期比に関する数値は参考として記載しています。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は687億60百万円となり、前連結会計年度末に比べて24億88百万円減少しました。主な要因は現金及び預金の増加13億36百万円、売上債権の減少21億14百万円、有形固定資産の減少5億20百万円、投資有価証券の減少13億12百万円等であります。

負債合計は354億98百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億18百万円減少しました。主な要因は短期借入金の増加17億90百万円、長期借入金の増加5億48百万円、仕入債務の減少22億97百万円、未払法人税の減少5億64百万円等であります。

純資産は332億62百万円となり、前連結会計年度末に比べて16億70百万円減少しました。主な要因は、四半期純利益を11億33百万円計上、配当金の支払により5億65百万円減少、自己株式の取得により1億75百万円減少、その他有価証券評価差額金の減少7億70百万円、為替換算調整勘定の減少11億15百万円等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動により得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が21億23百万円、減価償却費が34億1百万円、売上債権の減少による資金増が14億29百万円、たな卸資産の増加による資金減が6億28百万円、仕入債務の減少による資金減が14億11百万円、法人税等の支払が14億87百万円などにより、34億26百万円となりました。

投資活動に使用された資金は、有形固定資産の取得による支出43億14百万円等により、41億26百万円となりました。

財務活動により得られた資金は、借入金の増加により29億89百万円、自己株式の取得による減少1億75百万円、配当金の支払による減少5億65百万円等により、22億45百万円となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当期末残高は、前期末と比較して13億36百万円増加し、65億90百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

米国発の金融危機の影響は、全世界において実体経済の急激な減速を引き起こしています。また、主要取引先である自動車メーカーの大幅な減産や想定を上回る急激な為替の変動により、当社グループを取り巻く経営環境はますます厳しい状況となっております。

これらの状況及び今後の市場動向を勘案すると、平成21年3月期通期の業績は、平成20年10月29日に公表した業績の予想値を下回る見込みであるため、本日公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正しております。

1. 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	90,000	4,200	3,500	2,000	56.88
今回修正予想 (B)	75,000	1,400	600	100	2.84
増減額 (B-A)	△15,000	△2,800	△2,900	△1,900	—
増減率 (%)	△16.7	△66.7	△82.9	△95.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	93,146	5,076	4,463	2,478	69.61

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、製品及び仕掛品は総平均法による原価法、原材料及び貯蔵品は移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、製品及び仕掛品は総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、原材料及び貯蔵品は移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. リース取引に関する会計基準の適用

所得権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用

指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会会計制度委員会）平成19年3月30日改正）が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用ことができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日がリース会計基準等適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

4. 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,721	5,385
受取手形及び売掛金	15,289	17,402
製品	2,599	2,266
原材料	3,992	3,833
仕掛品	2,045	2,391
貯蔵品	628	643
繰延税金資産	147	370
その他	1,886	2,037
流動資産合計	33,306	34,326
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,407	13,302
機械装置及び運搬具	45,160	44,722
工具、器具及び備品	6,567	6,161
土地	3,430	3,504
リース資産	31	-
建設仮勘定	1,406	1,648
減価償却累計額	41,358	40,172
有形固定資産合計	28,644	29,164
無形固定資産		
のれん	272	411
その他	262	367
無形固定資産合計	535	778
投資その他の資産		
投資有価証券	3,242	4,554
繰延税金資産	2,564	1,951
その他	468	473
投資その他の資産合計	6,274	6,978
固定資産合計	35,453	36,920
繰延資産	1	1
資産合計	68,760	71,248

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,100	15,397
短期借入金	7,680	5,890
未払金	2,818	2,691
未払法人税等	222	787
賞与引当金	210	641
その他	1,343	1,478
流動負債合計	25,373	26,884
固定負債		
長期借入金	3,550	3,002
退職給付引当金	6,280	6,182
役員退職慰労引当金	232	247
その他	63	-
固定負債合計	10,125	9,431
負債合計	35,498	36,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	3,031	3,031
利益剰余金	27,070	26,502
自己株式	1,268	1,093
株主資本合計	32,315	31,922
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	784	1,554
繰延ヘッジ損益	69	55
為替換算調整勘定	1,663	548
評価・換算差額等合計	810	1,061
少数株主持分	1,758	1,949
純資産合計	33,262	34,932
負債純資産合計	68,760	71,248

(2) 四半期連結損益計算書
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

当第 3 四半期連結累計期間
(自 平成20年 4 月 1 日
至 平成20年12月31日)

売上高	65,902
売上原価	57,613
売上総利益	8,290
販売費及び一般管理費	5,693
営業利益	2,596
営業外収益	
受取利息	19
受取配当金	84
その他	278
営業外収益合計	382
営業外費用	
支払利息	319
為替差損	243
その他	188
営業外費用合計	750
経常利益	2,228
特別利益	
投資有価証券売却益	232
特別利益合計	232
特別損失	
前期損益修正損	61
固定資産除却損	14
投資有価証券評価損	255
その他	8
特別損失合計	337
税金等調整前四半期純利益	2,123
法人税、住民税及び事業税	676
法人税等調整額	173
法人税等合計	849
少数株主利益	142
四半期純利益	1,133

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,123
減価償却費	3,401
のれん償却額	139
受取利息及び受取配当金	103
支払利息	319
投資有価証券売却損益(は益)	225
投資有価証券評価損益(は益)	255
売上債権の増減額(は増加)	1,429
たな卸資産の増減額(は増加)	628
仕入債務の増減額(は減少)	1,411
その他	171
小計	5,128
利息及び配当金の受取額	103
利息の支払額	318
法人税等の支払額	1,487
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,426
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	4,314
投資有価証券の取得による支出	40
投資有価証券の売却による収入	354
その他	127
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,126
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	5,014
短期借入金返済による支出	2,791
長期借入れによる収入	1,736
長期借入金返済による支出	970
自己株式の取得による支出	175
配当金の支払額	565
少数株主への配当金の支払額	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,245
現金及び現金同等物に係る換算差額	209
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,336
現金及び現金同等物の期首残高	5,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,590

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

自動車事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米・中南米 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	37,404	16,851	11,647	65,902	—	65,902
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	21,274	4,496	2,268	28,039	△28,039	—
計	58,679	21,348	13,915	93,941	△28,039	65,902
営業利益	1,036	592	969	2,596	—	2,596

- (注) 1. 国又は地域は地理的近接度により区分しています。
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次の通りです。
 (1) 北米・中南米・・・アメリカ・カナダ・メキシコ・ブラジル
 (2) その他・・・・・・アジア・ヨーロッパ地域

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	北米・中南米	その他	計
I 海外売上高（百万円）	16,961	12,576	29,537
II 連結売上高（百万円）	—	—	65,902
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	25.7	19.1	44.8

- (注) 1. 国又は地域は地理的近接度により区分しています。
 2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次の通りです。
 (1) 北米・中南米・・・アメリカ・カナダ・メキシコ・ブラジル
 (2) その他・・・・・・アジア・ヨーロッパ地域
 3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高	68,996	100.0
II 売上原価	59,883	86.8
売上総利益	9,113	13.2
III 販売費及び一般管理費	5,838	8.5
営業利益	3,275	4.7
IV 営業外収益	511	0.7
V 営業外費用	653	0.9
経常利益	3,134	4.5
VI 特別利益	1	0.0
VII 特別損失	79	0.1
税金等調整前四半期純利益	3,057	4.4
法人税、住民税及び事業税	1,073	1.6
法人税等調整額	156	0.2
少数株主利益	304	0.4
四半期純利益	1,523	2.2

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,057
減価償却費	3,041
売上債権の増減額	△1,091
たな卸資産の増減額	211
仕入債務の増減額	1,492
その他	207
小計	6,917
法人税等の支払額	△2,005
その他	△290
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,622
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△5,688
投資有価証券の取得による支出	△117
投資有価証券の売却等による収入	3
その他	△89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,891
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入の純増減額	3,124
長期借入による収入	711
長期借入金の返済による支出	△518
親会社による配当金の支払額	△558
自己株式の取得及び売却	△875
その他	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,872

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区分	金額(百万円)
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	26
V 現金及び現金同等物の増加額(又は 減少額)	629
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,087
VII 新規連結子会社の現金及び現金同等 物の期首残高	101
VIII 現金及び現金同等物の四半期末残高	4,817

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

自動車事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

	日本 (百万円)	北米・中南米 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	38,824	17,977	12,195	68,996	—	68,996
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	16,617	3,515	2,356	22,488	△22,488	—
計	55,441	21,492	14,551	91,484	△22,488	68,996
営業利益	2,093	160	1,022	3,275	—	3,275

- (注) 1. 国又は地域は地理的近接度により区分しています。
2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次の通りです。
(1) 北米・中南米・・・アメリカ・カナダ・メキシコ・ブラジル
(2) その他・・・・・・アジア・ヨーロッパ地域

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

	北米・中南米	その他	計
I 海外売上高 (百万円)	18,066	13,796	31,862
II 連結売上高 (百万円)	—	—	68,996
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	26.2	20.0	46.2

- (注) 1. 国又は地域は地理的近接度により区分しています。
2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次の通りです。
(1) 北米・中南米・・・アメリカ・カナダ・メキシコ・ブラジル
(2) その他・・・・・・アジア・ヨーロッパ地域
3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。